

令和5年度活動報告

三原市地域おこし協力隊OB
(現・大和町地域支援員)
石川 哲也

2024/3/10

①自己紹介

■氏 名: 石川 哲也

通称

◎ヤギのおじさん ◎アヒルのおじさん

■着任日: 令和3年1月1日
(令和5年12月末日で活動満期)

■所 属: 大和町萩原地区

■これまでの経験と移住経緯

○経歴

- ・食品パッケージ 技術&営業
- ・大学・企業へ研究機器 提案型営業

○移住の経緯

- ・田舎暮らしで食の自給自足に憧れる
- ・農業にビジネス・チャンスを感じる
- ・萩原地区に天・地・人が揃っている



②これまでの活動(着任から現在まで)

■稲作 慣行農法の実研修

@萩原5区集落営農組合

年間作業を体験&習得



■害獣捕獲駆除活動

イノシシ 鹿 ノートリア

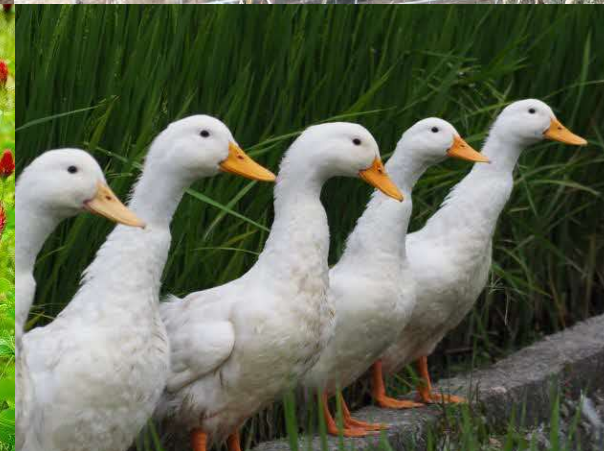


■稲作への新しい挑戦

○ハーブとアヒルのお米

Herb&Duck

- ・休耕田・放棄地 ⇒ ハーブ園
- ・田畔の雑草 ⇒ ハーブ
- ・農薬 ⇒ フローラル
ウォーター



地域の
景観UP・話題性・より良い自然環境

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

■当初からの目標

「萩原地区を広島県最高の米の聖地に」

萩原地区の広告塔

見える化・農業

ハーブ



あひる農法



ジビエ活用



④ 2023年の活動 振り返り

新規チャレンジ



怪我と体調不良により断念

害獣駆除

害獣駆除班員として

鹿とイノシシを合計43匹 駆除

農業

- ・ 稲作
- ・ 大和芋
- ・ マコモダケ
- ・ アヒル



害獣被害により
収穫は皆無

しかしながら

アヒル入水式
大盛況



参加者 50名超



④-1 2023年の活動 振り返り～その①あひる米

ハーブとアヒルのお米 **Herb & Duck** (ハーブ・アンド・ダック)

のパッケージデザイン



④-2 2023年の活動 振り返り～その②山羊さん導入

2023年3月生まれのメス2匹 ⇒ 6月に石川家へ養子に



養子にきて初日



大食いの姉



野菜泥棒さんまいの妹



地域の子供たちと



大和 子供食堂にて



三育学院の生徒さんたちと

お年寄りと子供さんたちをつなぐ役割をしています！

⑤今後の活動について

害獣駆除班員

◎より効率的な捕獲の確立

- ・ 罠の設置
- ・ 廃棄農産物での餌付け・誘引

地域支援員

◎農業振興

◎地域振興

広島三育学院の生徒と農産物PR活動

⑥広島三育学院との取り組み～その①アヒル米

あひる農法
の目的

観ているだけで楽しい農業

動物セラピー

アヒルの飼育～稲刈りまでの農業体験

不登校児

コミュニケーションが苦手な生徒

教育カリキュラム構築

- 新たな農地・放棄地の活用
- 農業と地域のPR

⑦広島三育学院との取り組み～その②農産物PR

ワクワク全快で起業家体験

商品企画
(ネーミング)

食品開発
(6次産業化)

農業体験

実販売
マーケティング

農家・地域の
ファン作り



大和町大草地区のれんこん



大和町萩原地区のお米



大和町の大和芋



三原市佐木島のミカン

地域活性にこそ、多くのビジネスチャンスがある！

⑧今後の私のビジネス展開

教育 を軸としたイベント、ツアーを展開していきます。

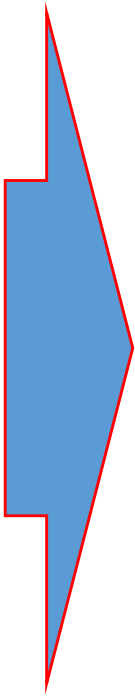
子供と親、家族全員で学び、体験を重ねる場をご提供。

自然 動物、植物、空、海を満喫

食 農産物、ジビエ、野草

農業 収穫、農作業

体験 アウトドア、キャンプ、料理

- 
- 地域資源をフル活用。
 - 地域をまるごと全て味わい尽くす。
 - 地域の方々との交流。
地域の技術や思いを
子供さん方に伝える。

小さい子供さんをもつ家族を市街地から誘致。
三原市に訪問していただくきっかけを創造する。

⑨3年間の活動を通して確信したこと

地方 住人 が

いま、最も必要としていることは何か。



子供たちの笑顔と笑い声

- 地域に家族連れが訪問していただける機会を増やします。
- 移住者が増えるよう、今後尽力していきます。

⑩最後に

ご清聴ありがとうございます。
皆さまのおかげ様で
3年間の任期を無事満了できました。
心より御礼申し上げます。

この御恩は
今後の地域貢献で
お返しさせていただきます。
今後とも応援、宜しくお願い致します。